

OJAMA-SHIMASU



たけだみりこ

10月×日、千葉県流山市の住宅街にあるアトリエ・モリタ。オジマシマスーイイ!!

10畳ほどの教室です。すでにスカートの製作が始まっていた。

3カ月の研修は残り4週間を切り、このスカートは卒業制作のスーツの一部なのだそう。

アトリエ・モリタの森田先生

昨日みんまで日暮りの閑居街まで行って生地を買ってきたんです

ザキアさんはシックな茶系のツイード生地で6枚はぎのスカートを製作。

「この生地は端がホロボロするから、反をつけて作るのよ」

シユグフアさんはグレーのストライプにほんの少しカラフルなネップが織り込まれたウール地でタイトスカート製作。

ストライプ地の扱い方を教える

今日はこの生地、型紙をあげて縫い代をとって印をつけて裁断し、仮縫いをするところまでです

この日は一日、2人が作業するのを見守りながら、いろいろな話を伺った。

出会い

森田先生は洋裁を始めて今年で50年です。来週で50周年です。

先生が研修に協力することになったきっかけは、先生がインターネットに出した生徒募集情報を、偶然駿溪さんが見たこと。

わたしは今までの仕事してきてほんとに自分が幸せだったから、何かお返ししたいなあと思いついたこと、たのね

そして、どんな時でも自分の才能と努力で道を切り開いてきた女性の自立を絵に描いたような人です。

「これだ!!」って思っただけで電話してお願いしたら、快く引き受けてくださったんです。

先生は、もっとうまく熱心に教えてくださってほんとに感謝しています。

ザキアさんとシユグフアさん

戦争の混乱の中で生まれ育ち、自由に勉強やおしゃれを楽しむ経験などほとんどない2人は日本に来てから刺激を受けているとのこと。

「あんな流行があつてもおもしろいです!!」

「街歩いていても電車乗っていてもあの服もこの服も作ってみたい〜」

「前回のレッスンで、やせたからまた断食しようか」

「おかしなところがあると、即座に厳しい指導が飛んだ」

「もう一回やり直して」

「そう、先生は2人の手の動きから目を離すことはなく、おしゃべりをしながらも」

「わたしは家族に女性だけの希望の学校に行きたいです」

「他の学校は年齢が高いからダメだ、たけど希望の学校は大人も入れたんです」

「洋裁も前から習ってみたいから」

「母は希望の学校を作った当時、一軒一軒家を回って家族を説得したらしいんですよ」

「あ、見えて強いですよ、うちの母」

製作途中でデザインを変更したいと言った時も「ダメです!」

「デザインに合わせて生地を買ってるし、途中で変えられないの!」

「でも、お父さんが途中で変えてくれたりあなたも変えろの?」

「いっつも持ち直しがグラグラしていちやダメなの!!」

「生地の使い方を間違った時も、もっと神経使って作業しなさい!!」

「自分でやるの!!」

「逃げない!!」

でも、その厳しい言葉の端々に優しさがあった。失敗するのはあたりまえ!!

「難しいこと習ってね!!」

「先生は、もう一度と間違わないしね」

「2人とも、ここに来て成長しましたよ」

「注意を受けた時にも最初は人の顔を伺って、もうなごころがあったけど、今ではビニが悪かたのかちゃんと質問できる、もう1人になりました」

「こうして、針仕事しながらの、女性同士の楽しいおしゃべりで、あつという間に時は過ぎ...」

「2人は、26歳でおばあちゃん扱い!!」

午後3時半、たくさんの宿題が出されて、研修終了。

「2人は週末に仮縫いを完璧にやってくるよ」

「わたしは上着の製図をしにくから、あー、難しいわ」

「来週から上着の製作にも取り掛かり、2人が帰国するまでにこんなスーツが出来上がる予定です」

「国に帰ってから、わからないうちに教えるから、駿溪さんに連絡するのよ、型紙が必要なら、製図して送るし」

「国が安定したら遊びに行くわ」

「希望の学校から、たくさんの自立した女性が、ますますよくなりますように。」

EDITOR'S MEMO

今回は茨城県とJICA筑波の連携による草の根技術協力事業「アフガニスタン女性の自立支援事業」の研修を紹介。実施するのはNGO「希望の学校」だ。

アフガニスタンでは、長期にわたる紛争とタリバン政権下で、女性は教育や就業の機会を奪われ、社会的、経済的に厳しい状況に置かれてきた。1977年に来日し、日本に帰化した駿溪トロボカイさんは、母国の女性の窮状に胸を痛め、女性の自立を助けようと、2002年にNGOを発足。読み書きができない女性の社会進出を図るには、子どもを預ける保育施設と保育士の育成、識字教育と洋裁技術などの職業訓練が必要と考え、03年に「希望の学校」をカブールに開校した。

06年に始まった「アフガニスタン女性の自立支援事業」では、学校の指導レベルを高めるため、保育・洋裁分野で教員への研修を行っている。今年はずきア・グラムジャンさんとシユグフア・ザルマイさんが約3カ月間、千葉県流山市のアトリエ・モリタ洋裁教室で洋裁技術を学んだ。熱心に指導する森田みどり先生のもとでもっと多くの技術を身に付けて帰ろうと頑張る2人。周囲の社会が安定し、2人や学校の生徒たちをはじめたくさんの女性が活躍できる日が早く来ることを願う。

たけだみりこ 漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に『セクションの食卓』『異国のメシー』『クッキング カンタン』『キッチン穴』など。http://majop.com/Neji/